河内長野市立千代田中学校　グランドデザイン

河内長野市教育理念　ふるさとのつながりによる豊かな学び　～輝く人づくりのために～

中学校区スローガン　誇りを胸に生きるこどもに
～自分に誇りを・学校に誇りを・地域に誇りを～
ー主体性と協調性をもった児童生徒にー

めざす学校像　すべての人の命をとことん大切にする未来。
その未来をともに創る子どもたち。
その子どもたちの力を引き出す学校。

めざす子ども像・学校教育目標

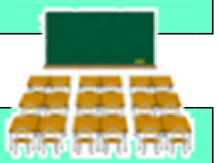
1. 思いを語り合い、考え合い、学びを深め合う生徒の育成
2. 人の役に立つことにより、自分を更新できる生徒の育成
3. ちがいを活かし、ともに生きる未来を創る生徒の育成

校長経営ビジョン

・命(人権)をとことん大切にする信頼ベースの安全安心な居場所のある学校づくりの推進
・学力(思考・判断・表現力)と心の成長を、子ども・教員・保護者・地域がともに喜び、感動できる教育の推進

学習指導

■学力向上（思考力・判断力・表現力の向上）
■わかった！できた！感動のある授業から、わかった！できた！！頑張れた！！！と思えるテスト体験
■ＩＣＴ機器の効果的活用（ロイロノートなどの思考力向上・教材の視覚化）
■個別最適な学びを保障する。そのための「困り感シート」「つまづきシート」の活用
■教材研究と指導方法の工夫改善により、つながり合い学び合う「協働的な学び」の実現
■家庭学習の充実



人権・道徳

■いじめに向かわない子どもの育成のため、人権ベースの道徳教育・いじめを許さない集団づくりを進める。
■様々な社会的弱者への差別を知り、差別解消のための学びを深め、主体的に行動する人権教育の充実。
■命の尊さに気づき、互いの「違い」を認め合える豊かな人間関係づくりを構築するための集団づくりの推進。
■自分の思いや意見を仲間を信じて語り合い、他の人の思いや意見について自分との違いを考え、議論する道徳の指導方法の研究を図る。

特別活動

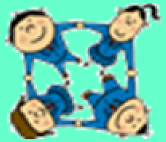
■学校は子どもが生活するミニ社会と考え、自分たちの社会で起こっている問題を自分たちで考え解決する集団を育む。（シチズンシップ＝主権者の育成）
■学校生活の困り感を解消するために動く生徒会の指導
■学校という集団の中での生徒一人ひとりの役割を提供し、役割を果たすことで感謝され、感謝されることにより「役に立った」と思える取組みを進める。

支援教育

■発達障がいなど様々な障がいの理解とその支援方法を学び、障がいのある生徒が通常の学級でクラスの仲間とともに学びともに育つための支援教育＝インクルーシブ教育に努める。
■通常の学級におけるユニバーサルデザインの観点を取り入れたわかる授業づくり
■一人ひとりの障がい理解と個のニーズに応じた支援方法の共有
■ソーシャルスキルの向上をめざした学習・生徒指導・ともに学びともに生きるインクルーシブ教育の観点を基盤とした社会の一員として、主体的に生きる力を育む。
■通級指導教室の指導の充実（困り感のある生徒の存在に気づき、状況を把握した指導）

生徒指導

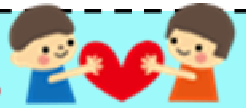
■成長を促す指導（生徒支援委員会からの発信）
・自己有用感を高めることにより、自尊感情を高め、いじめ・問題行動・不登校に向かわせない。
■寄り添い、向き合う生徒指導
・ありのままの子どもの姿を受けいれる
・子どもの背景を知るために、家庭訪問や子どもの話、保護者の話を聴く。
・課題と向き合わせるために、スモールステップで根気よく支える。
■虐待・いじめ・不登校・問題行動への早期発見・早期のチーム対応・関係諸機関との連携。
■子どもと子どもをつなぐ集団づくり
・不登校生とクラスをつなぐ。
・配慮の必要な子が排除されずクラスに居場所があるように子ども同士をつなぐ。



キャリア教育・進路保障

■自分の人生における役割をどう果たすかを主体的に考え、実践する力を育てる。
・職場体験の充実
・社会において、様々な役割を果たしている人の生き様を聞いて学ぶ
■主体的に進路を選択し決定できる能力や態度を育成する
■地域社会における自分の役割を考え、地域活動を体験する。（防災・あいさつ・地域清掃）
■進路選択にあたり、保護者との連携を密にし、ガイダンス機能の充実に努める

地域・保護者との連携と地域・保護者への発信



■学校運営協議会の充実。　■学校だよりやホームページの充実
■子育ての「共育者」として、保護者・青少年健全育成会・青少年指導員・民生委員児童委員等、地域の人々との連携強化。